

i-Construction series

3D マシンコントロール・バックホウ

KOBELCO SK-200 + TRIMBLE Earthworks

AKT/O

アクトィオ



KOBELCO SK-200

TRIMBLE Earthworks (Trimble TD 520/Android OS)

ついに、バックホウの セミオート・ マシンコントロール可能。

KOBELCOの最新バックホウ SK-200に、TRIMBLEの最新3DマシンコントロールユニットEarthworksをカスタマイズして装着しました。これにより、バックホウのセミオート・マシンコントロールが可能に。バックホウ・マシンコントロールにより、短期間で常に計画面にあった施工を行うことが可能です。

代表的な適応工種



法面整形工

切り出し位置の確認が容易。
法勾配の丁張りも不要です。



浚渫工

目視できない現場でも、バケットの位置を
リアルタイムに正確に把握し作業できます。



床堀り工

地盤をデータ通りに把握し、
正確な掘削作業ができます。



切土土工

目視しにくい、施工基盤より高い土砂の
削り取りも、すべて自動で行えます。

i-Construction プラットフォーム

システム構成



TRIMBLE Earthworks の特長



Earthworksは、タッチスクリーンからバックホウのセミオートコントロールを可能にしたプラットフォームです。カラフルで視認性の高く、直感的に操作することができるインターフェイスで、マニュアルを読むことなく、オペレータは操作が可能です。

- Android OS を使用することで、他のアプリケーションの利用や、サードパーティのAndroid タブレットも使用することができます。
- インターネットに接続し、事務所から現場への設計データファイルの転送や、作業状況のレポートを事務所で自動的に取得することができます。
- レバーを引くだけのワンハンド・オペレーション。フルコントロールで深掘りを防止、手戻りをなくします。

法面整形のオペレーション例



オートモード
開始

操作レバーで
アームを動かす

ワンハンド
オペレーション
スタート

法面勾配に
合わせて
バケット角度を
自動維持

アクティオで、i-Constructionの導入へ。

i-Constructionは、より革命的な建設生産システムを構築するため、測量・設計から施工、管理にいたる全プロセスにおいてICT（情報通信技術）を取り入れる取り組みです。アクティオは、3Dマシンコントロール・バックホウをはじめとする各種機器で積極的にi-Constructionの導入を進めています。

i-Constructionによって

- 生産性の向上** 短期間で正確な施工を実現。
- 安全性の確保** 人力による高さ確認が不要。
- コストの削減** 作業工程を短縮し、人件費を削減。

AKT/O

アクティオは万全のサポート体制とトレーニング体制をご用意しています。
i-Construction 導入のための情報化セミナーを開催しております。

株式会社 アクティオ

〔 本社 〕

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルディング 7F

〔 道路機械事業部 〕

〒136-0075 東京都江東区新砂3-6-41 東京DLセンターオフィス棟 3F

Tel: 03-6666-2262 Fax: 03-6666-1997

URL <http://www.aktio.co.jp>